



大分県議会議員 自由民主党 宮成 公一郎 (竹田市選挙区)



ブログ更新中

9月4日開会した令和7年第3回定例会は9月24日に閉会しました。

この間、暑い夏も過ぎ去り、敬老会や運動会も続々、山は紅葉の秋を迎えています。

第3回定例会では、経済対策を中心とした補正予算案等の議案・議決に加え、御礼回廊となる一般質問を行いました。

今号では、補正予算の概要に併せて、県議会や自民党会派の活動についてお伝えします。

■一般会計補正予算の概要

賃上げと人手不足対策、安心・元氣・未来創造ビジョン2024の推進に必要な政策経費などの増額補正を行いました。

補正予算案 + 既決予算額 = 累計
10,833,784 千円 + 703,093,440 千円 = 713,927,224 千円

1 中小企業等業務改善支援事業 37,500 千円

最低賃金的大幅引き上げの中、県の業務改善推進課の採択を受けた中小企業等に対して、補助金の上限支援を実施。

・対象 最低賃金改定額を越え引き上げをおこなった中小企業・小規模事業者・経営者 業務改善に資する経費の自己負担分の2/3、限度額100万円以下

2 労働環境の向上を踏まえた委託増額 101,897 千円

同対策の大幅な労働環境の向上に対応するため、県民生活の委託業務（高齢・高齢、福祉安全）や指定管理施設等に経営スライド制度を導入。

3 医療提供体制緊急支援事業 550,595 千円

医療需要の変化や人手不足に対応できる医療提供体制を確保するため、病院等の適正化等に取り組み医療機関を支援。

・病床数の増減に係る給付金（410.4万円/市県医師）
・病床の機能分化に資する施設整備における設備整備分の補助（補助率2/3）
・コロナを克服入院患者数の小児医療機関施設への助付金（25万円/床）
・地域での療養分割に基づき施設設備等を行う前払型診療給付への地域（補助率1/2）

4 就業支援手帳補・育児対策事業 72,802 千円

事業者の生産性向上や就業拡大を図るため、就業支援サービス事業体設立支援に資する経費に対する助成。

・ニース計画。サービス提供の試行等 補助率10/10
・スマート農業推進等の導入 補助率1/2

5 地域おこし観光推進事業 27,900 千円

地域おこし観光推進制度を創設し、地域住民の安心と利便性の確保、県上に必要な取組整備に資する。

・地域の活性化、情報の提供表示、おもてなしに取り組み施設等対象
・施設カメラ、防災無線設置、情報表示板、トイレ改修等
・補助率2/3、限度額30万円以下

6 入院小児患者対応の環境改善 18,780 千円

入院中の子どもに付き添う家族が休憩できるスペース設置等に取り組み医療機関を支援。

・施設改善に資する経費への助成（250万円/医療機関）
・無償整備に資する経費への助成（2万円/医療機関）

7 再造林促進事業 250,000 千円

市県林の再造林を推進するため大分県森林林業を振興と連携した早稲田県森林等の取組を、ソフトバンク株式会社からの助成金を活用して支援。

■議員提出意見書

私学助成制度の充実強化を求める議員提案書

深刻な少子化が進んでいる中、私立中学校・高等学校を取り巻く状況は様々な課題が山積しており、国による財政支援・制度の整備が不可欠となっている。教育基本法の趣旨等を踏まえ、私学助成に係る国庫補助制度等、様々な支援の充実強化を図るよう強く要望する。

■議員定数調査会

議員定数や選挙区及び選挙区ごとの定数を協議・調整するための議員定数調査会を設け、定数15名の委員が一人として9月が月間の機関に参画します。なお、見直しを行った場合は9月9日の一般議決から適用されます。



議員も交え、適切な定数を定める責任は重い。

■防災減災・県土強靱化対策特別委員会

防災減災・県土強靱化対策特別委員会委員は、9月20日の大分県議会大分県議会議員会に出席し、防災減災・県土強靱化対策特別委員会を行うこととなる旨の決議。防災減災対策委員会の一環として令和8年3月の県議会に向けた議論を進めています。



防災減災対策委員会委員も交え、防災減災を急ぐ。

■各種団体との意見交換

自民党会派では9月9日に60以上の様々な団体との意見交換会を集中的に開催しています。業界の実情や課題を把握し、地域に特化した活動を継続しているからこそ、国政に声を届けることができ、国政に政策を提案できると感じています。



9月9日、トヨタ協会と県内の自動車関連の団体と意見交換会。

■商工観光労働企業委員会

9月25日から県民町会連合会、全県商工会を中心として140万人が訪れる人2660人の観光オーバーツーリズムの対策を調査しました。



■竹田五ヶ瀬線改良促進期成会

9月30日、県下各地から五ヶ瀬駅を駅員・議員等と訪れ、五ヶ瀬駅で直ぐ直ぐと河内改良促進を調査し、意見交換を行いました。



- 暑い夏を過ぎ、秋雨模様の日々を経て、遅れた刈取りに量も品質も気になったが、今、最も気にかかるのはコメの価格が。
- 戦後80年の節目の年、この国の政治が動きつつあるが、地方が取り残されないよう「踏ん張りどころ」だと感じる毎日。
- 一般質問も5回目となるが、地域の課題は山積みしている。9月末から続く県外出張で得た知見や知見を今後活かしたい。
- 今年はインフルエンザの流行が早いと聞く。まずは、よく食べ、よく寝て、よく動き、自己免疫力の強化を心掛けたい。